

リーディングDXスクール事業【実践事例】

山江村立山江中学校（熊本県）【指定校】

【取組内容】 総合的な学習の時間における情報活用能力の育成

単元名「山江村のミライのために～中学生の私たちにできること～」

★全学年合同の縦割りチームを編成したことで、100名もの多様な意見を整理して深める必要があった。プロジェクトの方向性を定めたり計画を立てたりするにあたり、オンラインホワイトボードを活用し情報を整理した。

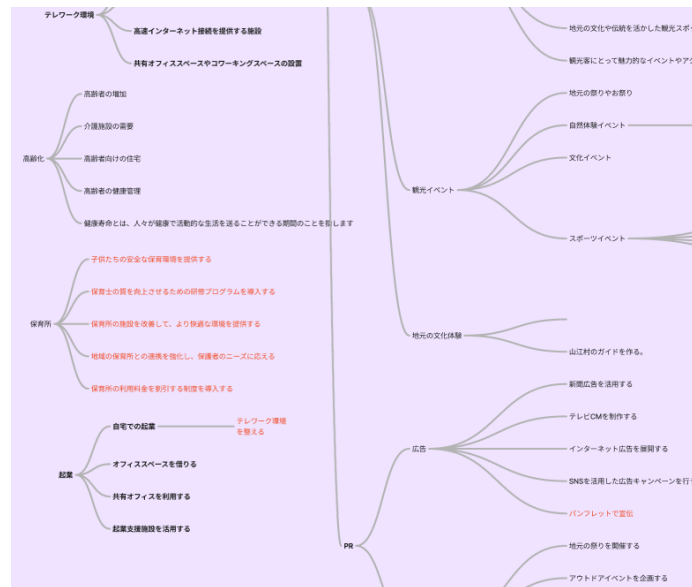
★プロジェクト型学習の形態にしたことで、校外の他者へのプレゼンをする機会を多く設けることができた。プレゼン資料を作成する過程を通し、どうすれば他者に伝わりやすいよう情報をまとめることができるかを学ぶことができた。Googleスライドに各チームの報告をまとめることで、生徒が互いにまとめ方を学びあうとともに、教師も各チームに助言することができた。



★共同の会議で、山江村役場の職員へ企画をプレゼン



★中間報告会で、村長へプロジェクト進捗を報告



★オンラインホワイトボードで全校生徒のアイデアを整理